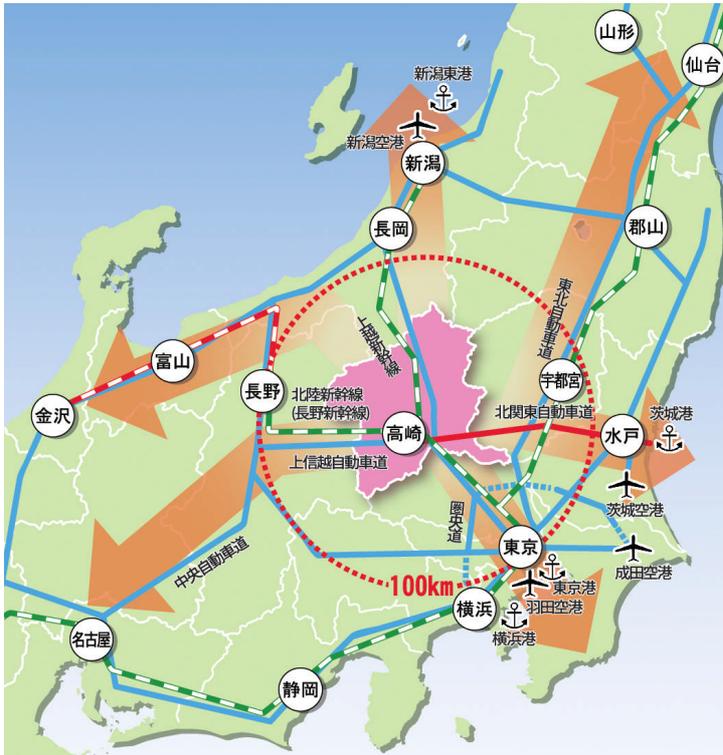


1 はじめに

(1) 高崎市の拠点性



群馬県は東京から100km圏に位置し、古来より西日本と東日本、日本海と太平洋を結ぶ交通の要衝として発展してきた。

平成23年3月に北関東自動車道が全線開通、平成26年には北陸新幹線が金沢まで延伸される予定であるなど、首都圏、東北、信越、北陸、中京圏を結ぶ高速道路・新幹線等鉄道の結節点として、さらに拠点性を高めている。

(2) 高崎競馬場跡地の重要性

その高崎市の玄関口である高崎駅東口から約1kmに位置する高崎競馬場跡地は、約10.8ha（3万3千坪）の面積を有する高崎市街地に残された貴重な大規模空間であり、今後の地域の発展を考えるにあたり、高崎市はもとより群馬県の将来にとって非常に重要な土地である。

跡地の利活用は、群馬県の将来を左右するほどの重要性を持ち、国内はもとより世界を視野に入れた利活用が期待されている。

